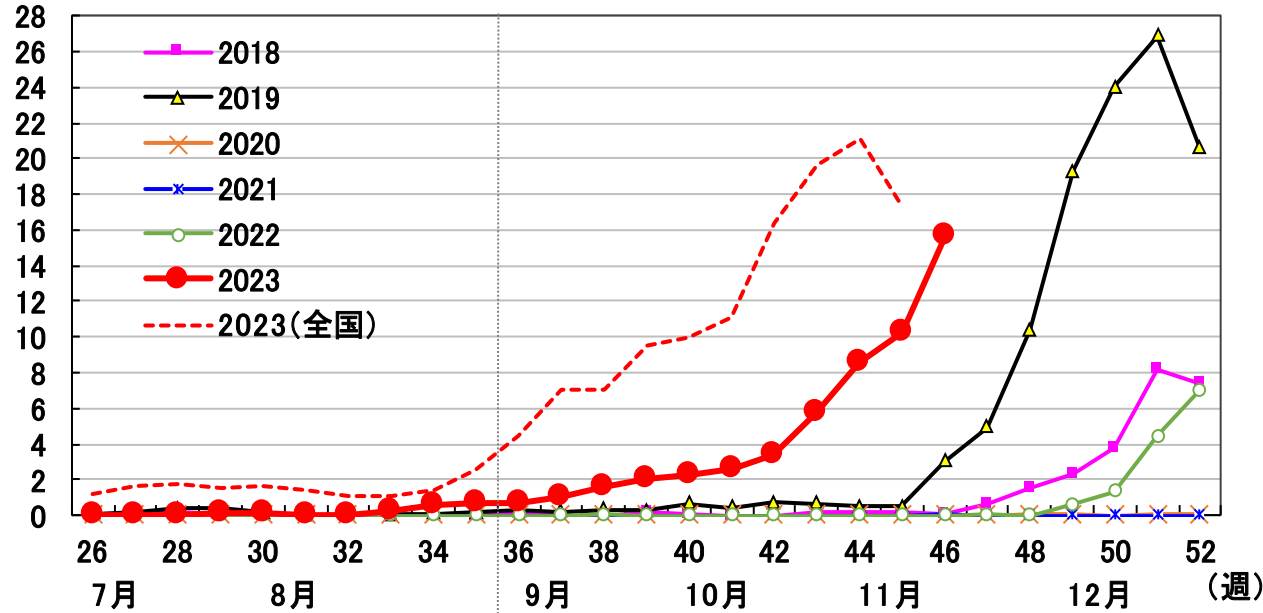


インフルエンザの発生状況(富山県)

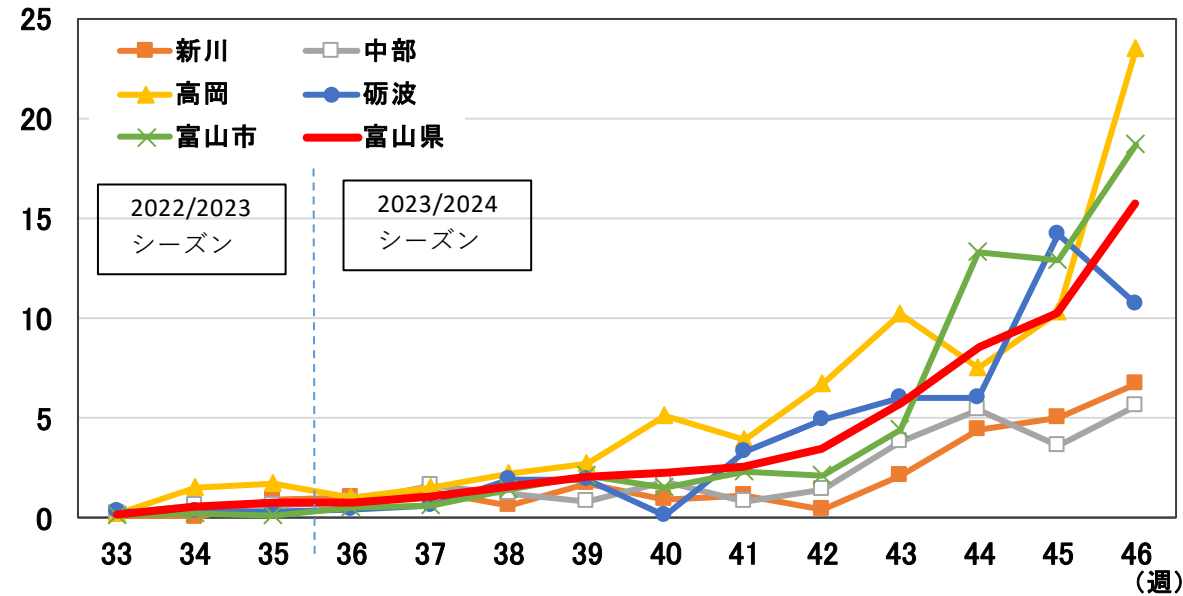
【第46週(2023/11/13~11/19) 感染症発生動向調査速報値 (2023/11/22時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数は今週（第46週）**15.71**人/定点となり、先週（10.27人/定点）から大幅に増加した。
- 厚生センター・保健所別に見ると（図2）、砺波管内以外で先週より増加した。特に高岡管内では今週**23.46**人/定点となり、先週（10.31人/定点）から大幅に増加した。
先週に引き続き、高岡、砺波、富山市管内では注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。

図3. 年代別割合(富山県、第46週)

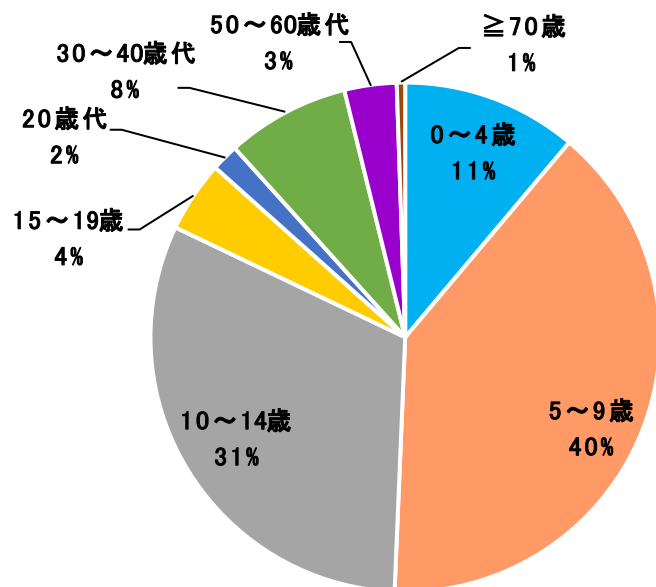
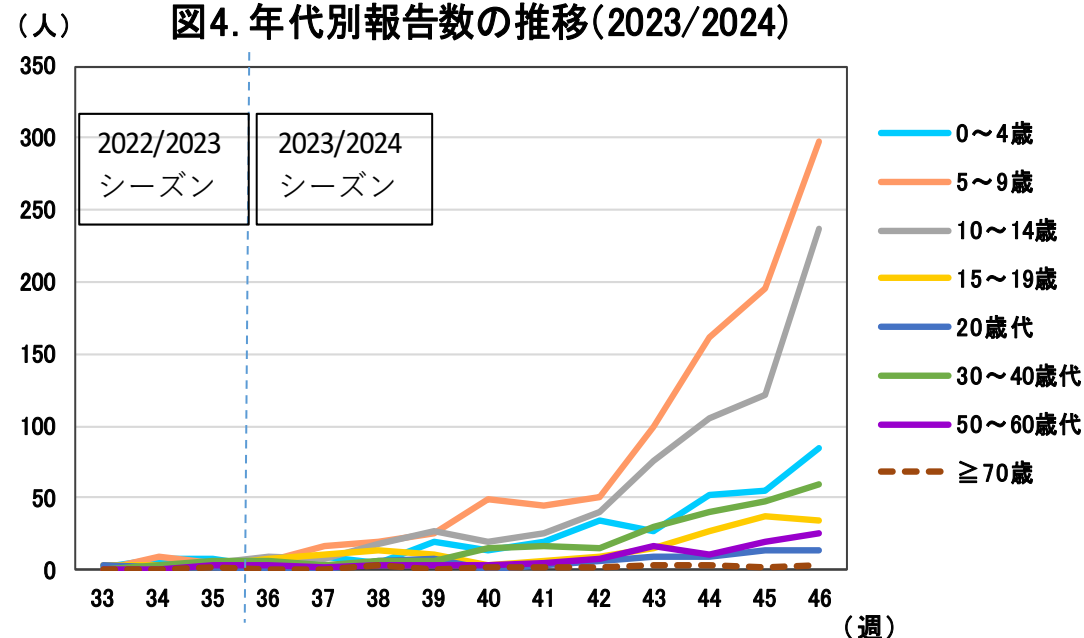


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第46週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が82%を占め、中でも5~9歳が全体の40%を占めた。
- 年代別報告数の推移（図4）では、5~9歳（橙）、10~14歳（グレー）で増加した。また、0~4歳（水色）、30~40歳代（緑）においても増加が認められた。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第46週に17施設（小学校13施設、中学校2施設、高等学校2施設）で報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP：<https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第45週)

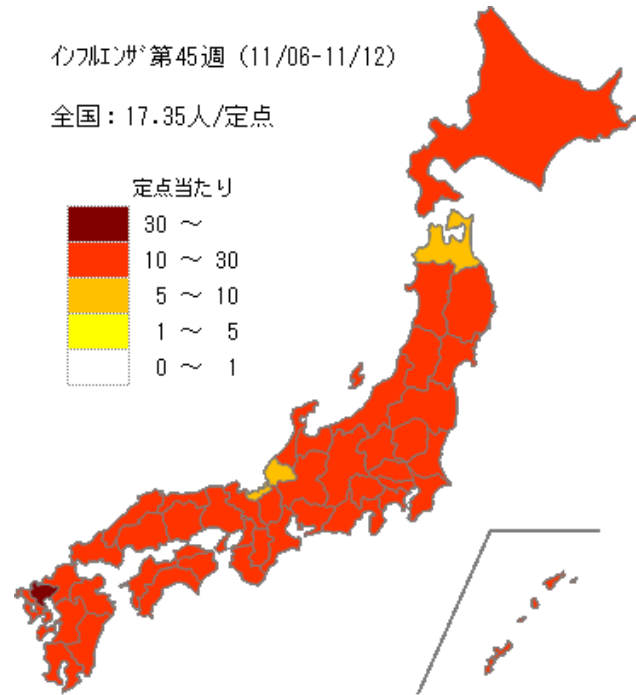
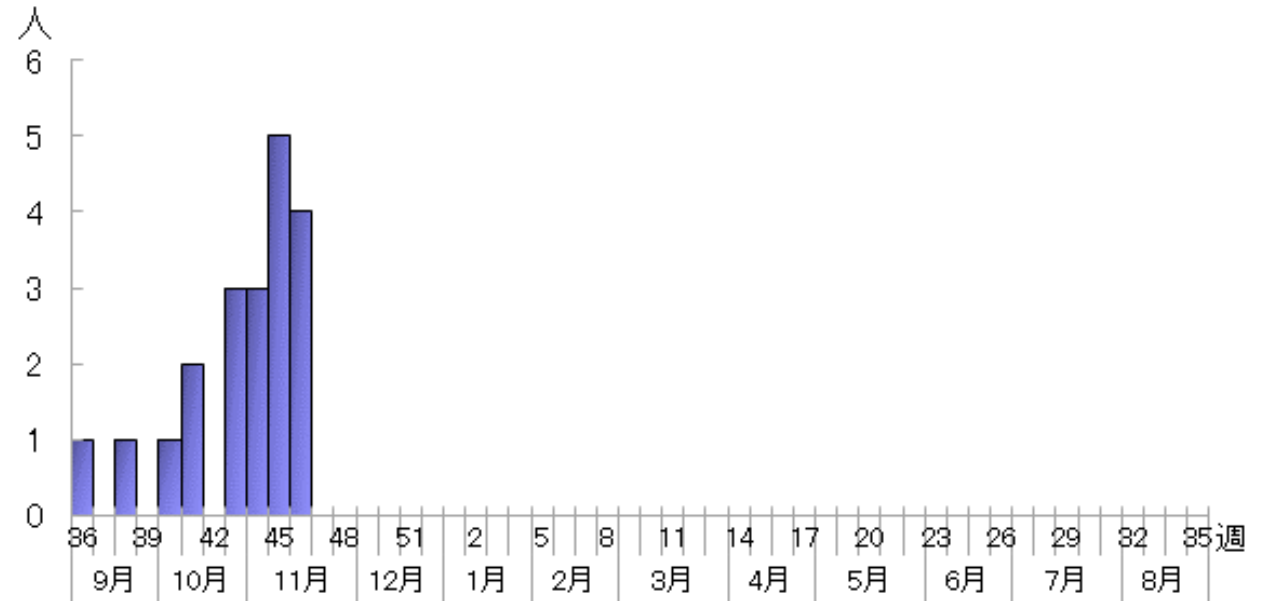


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第46週)



- 全国では第45週に17.35人/定点となり、第44週（21.13）から減少した。都道府県別（図5）では、45都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。また、その内1県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第46週に4例の報告（5～9歳：3例、10歳代：1例）があった。
- 今シーズンは、例年より早期にインフルエンザの流行が認められた。患者数の増加傾向が続いており、今後の発生動向を注視する必要がある。